

大学院看護学研究科 博士後期課程		授業 科目	看護学特別研究 Research in Nursing Science			担 当 教 員	石原逸子、林千冬、グレッグ 美鈴、沼本教子、金川克子、 都筑千景、鈴木志津枝、二宮 啓子	
開講年次	1～3年次	単位数	8単位	科目 分類	特別研究	授業形態	ゼミ	
選択必修	必修	時間数	360時間			使用教室	南館202演習室	
授業の目的及びねらい								
<p>1. 社会経済、保健医療福祉の諸政策の変化を踏まえ、利用者の権利擁護とニーズ充足の観点から現行の看護提供組織・システムを検証し、これを支える看護職者の人材育成ならびにサービスの質保証について探究する。</p> <p>2. 少子高齢化の進展、疾病構造の変化に伴い多様化・複雑化する人々のニーズに対応し、QOLの向上、健康寿命の延伸に必要なとされる健康生活支援モデルの開発、および地域全体を視野に入れたケア・システムの開発を目的とする研究を行う。あるいは、高度化・先端化する医療の中で複雑な健康問題や障害をもつ患者・家族が主体的にQOLを高めるための新たな療養生活支援モデルの開発を目的とする研究を行う。</p>								
授業のキーワード								
看護基盤開発学領域：看護管理、看護政策、看護サービスの質保証、キャリア開発、キャリアマネジメント 看護実践開発学領域：健康生活支援モデル、ケア・システム、療養生活支援モデル、研究								
講義回数	授業内容及び計画							
第1回	オリエンテーション							
第2回 ～	<p>1. 研究計画策定段階</p> <p>① 関心領域に関する基本文献の抄読を重ね、研究課題を絞り込む。</p> <p>② 必要時、フィールドワーク実習を企画し、実施する。</p> <p>③ ①～②を繰り返し、最終的に研究課題を明確化する。</p> <p>④ 研究課題に基づき、対象者の倫理的配慮を含めて、研究方法の選択およびその洗練のための方略について検討し、研究計画書を作成する。</p> <p>2. 調査実施段階</p> <p>研究計画書に基づき、データ収集・分析を信頼性・妥当性を確保しながら行う。</p> <p>3. 論文の作成段階</p> <p>分析結果・考察、論文の構成等について検討しながら、論文を作成する。</p>							
テキスト								
参考文献								
成績評価の方法	博士論文審査基準による							
教員から学生へのメッセージ								

